

第2章 研究の目的と方法

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築は国の重要な政策課題であり、各地域や教育現場における取組を着実に進めることが求められている。その取組に寄与する研究の必要性から、「我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究」をテーマとした5年間（平成28年度～令和2年度）の研究を推進してきた。

平成28・29年度は、国内における教育委員会や園・学校のインクルーシブ教育システムの現状と課題に関する調査と海外（アメリカ、イギリス、イタリア）におけるインクルーシブ教育システムの動向と評価指標に関する実地調査を行い、インクルーシブ教育システム構築の「評価指標（試案）」を作成した。

平成30年度の研究では、インクルーシブ教育システムの構築に関しては、共通した目指すべき姿があるのではなく、各地域や園・学校の実情に応じて構築を進めるべきものであることを確認した。このため、平成29年度に作成した「評価指標（試案）」に示した各項目は、園・学校がインクルーシブ教育システムの構築の現状や課題を把握して、次の取組を見出すための手掛かりを得るためのものと捉え直した。この趣旨を反映するために、「評価指標（試案）」について、インクルーシブ教育システムを推進し、主体的取組を支援するためのツールとして捉え直し、「インクル COMPASS」（「Components for promoting inclusive education system and assisting proactive practices」の頭文字）に改称した。

平成30年度・令和元年度の2年間は、研究協力機関（教育委員会、園、小・中学校、高等学校、特別支援学校）の協力を得て、園・学校用「インクル COMPASS（試案）」を園・学校の実情に即した内容に改善を図り、実際に園・学校に使用してもらい、その活用事例を収集して、実情を踏まえた園・学校用「インクル COMPASS」とその活用例を提案した。あわせて、平成28・29年度に収集した海外の情報を参考にしながら、海外においてインクルーシブ教育システムの取組や推進状況を把握する指標等が、どのように使用されているのかについての情報を収集した。

以上を踏まえ、最終年度である令和2年度における本研究の目的及び研究計画・方法は以下のとおりである。

1. 研究の目的

- （1）研究協力機関を始めとした教育委員会の協力を得て、教育委員会用「インクル COMPASS（試案）」の改善を行うとともに、その活用方法を検討する。
- （2）園・学校、地域がインクルーシブ教育システム構築のための主体的取組を見出すための要件について考察する。
- （3）研究協力機関の園・学校での「インクル COMPASS」の使用とそれに基づくインクルーシブ教育システムの推進に向けた主体的取組についてまとめた事例集を作成する。

2. 研究計画・方法

(1)教育委員会用「インクル COMPASS(試案)」の改善と活用方法の検討

- ①教育委員会用「インクル COMPASS (試案)」で設定していた観点・内容を教育委員会の各役割に基づいて研究チーム内で再検討し、修正案を作成する。
- ②所内の教育委員会指導主事経験者、研究協力機関、研究協力者からの意見、及び地域実践研究参画地域等からの意見を反映し、再度、修正を行う。
- ③研究協議会での研究協力者、研究協力機関からの意見、及び都道府県・指定都市・中核市教育委員会からの意見や要望等を反映し、研究チーム内での協議を経て、教育委員会用「インクル COMPASS」を作成する。併せて、研究協力者・機関、各教育委員会から教育委員会用「インクル COMPASS」の具体的な使用方法について意見を求め、検討材料とする。

(2)事例集の作成

令和元年度に研究協力機関から収集した園・学校用「インクル COMPASS」を活用した主体的取組の事例について、各取組の特徴とポイントを抽出し、研究協力機関に確認の上、分かりやすく事例としてまとめる。

(3)主体的取組を見出すための要件についての検討

令和元年度において、研究協力機関である園・学校の取組事例から主体的取組のポイントや方向性を検討したが、それに加え、5年間の地域実践研究の取組と成果、また、園・学校の主体的取組を支えるために期待される教育委員会の役割等を踏まえ、主体的取組を見出すための要件について検討する。

(4)「インクル COMPASS」の理解・啓発及び普及を図るためのガイドの作成

園・学校及び教育委員会での「インクル COMPASS」の活用を図るために、ガイドを作成する。昨年度までに、「インクル COMPASS」解説リーフレット（「インクル COMPASS を使ってみよう！！」、「インクルーシブ教育システムを推進するための地域や学校等の主体的な取組を支援します インクル COMPASS」）を作成してきたが、教育委員会用「インクル COMPASS」を含め、より広く活用を図るためのガイドを作成する。

(星 祐子)